


1箱700円の時代に！？

たばこ税金のこれから

..... 今月のコラムCHECK 

- 2026年・2027年に、たばこの値上げ予定が示されている
- 値上げで注目されているのは特に「加熱式たばこ」



「また、たばこが高くなる」・・・そう聞いて、溜息をついた方も多いはず。2026年、更なる「たばこの値上げ」が想定されています。

✓ 加熱式たばこの値上げ？

これまで加熱式たばこは、紙巻きたばこより税金が安く設定されてきました。しかし、2026年度以降は課税の仕組みが見直され、紙巻きたばこと同じくらいの税負担に、**段階的に引き上げられる予定**です。1) また、税制改正大綱では、**税込**を安定して確保する方針が示されており、以下のようなことが示されています。2)

◆ 2026年度 → 加熱式たばこの税金が引き上げられる計画

◆ 2027年度以降 → 紙巻きたばこ&加熱式たばこの税金が引き上げられる計画

✓ 「1日10本」吸う方の料金を見える化してみましょう！

例えば、現在「1箱580円」のたばこを1日10本（0.5箱）吸う場合にかかる費用を見てみましょう。



	1か月	1年間
現在	約8,700円	約105,850円
一箱30円値上げした場合※	約9,150円	約111,300円



今回の増税は小さく感じる方もいるかもしれませんが、30年前の1996年頃は、たばこ**1箱は240円**前後で販売されていました。3) 段階的な税率見直しや価格の上昇により、現在では**500円**前後が当たり前となっています。

一度の値上げはわずかでも**積み重なることで、気づきにくいまま負担は増え、30年前と比べ、たばこにかかる費用は2倍以上に膨らんでいるのです。**

✓ これからのたばこ代、どう付き合う？



今後も、たばこの値上げが検討されていく可能性があり、値下げに転じることは

考えにくい状況です。物価が上がり、生活費の負担を感じやすい今だからこそ、この増税をきっかけに、禁煙を考えてみるのも一つの方法かもしれません。



禁煙で、お財布へのダメージを軽くしませんか？

弊社が提供する「ascure卒煙プログラム」では、一人ひとりの状態や悩みに応じた的確な禁煙支援を行います。詳細は、ご加入の健康保険組合様までお問い合わせください。

■注釈

※2027年以降のたばこ税率については、紙巻き・加熱式たばこを含む全製品に対し、国税部分を**毎年たばこ1本あたり0.5円ずつ、合計3回にわたって段階的に引き上げる案**が税制解説で示されているので、この流れの中で、仮に**1箱あたり30円の増税が行われた場合（1箱610円）**の金額で算出しました。増税に加え、物価上昇などの影響により、たばこにかかる負担が今後さらに増える可能性もあります。

■出典

1) 財務省「令和7年度税制改正大綱（概要）」

https://www.mof.go.jp/tax_policy/tax_reform/outline/fy2025/07taikou_gaiyou.pdf

2) 財務省「たばこ税制に関する資料」

https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d09.htm

3) Trends in the co-use of alcohol and tobacco among Japanese adolescents: periodical nationwide cross-sectional surveys 1996–2017

<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8340282/>